プロポーザル説明書に係る質疑回答書

番号	質疑事項	回答
1	プロポーザル説明書　P9　様式 4-1～5（主任担当技術者の経歴等） 様式3（管理技術者の経歴等）と同様に記載してください。とありますが、様式3 記載の「d 業務の実績」について主任担当技術者は同種若しくは類似の実績がどちらもない場合配置することは可能でしょうか。	主任担当技術者は同種若しくは類似の実績がどちらもない場合でも配置することは可能です。
2	公募型建築プロポーザル説明書　P4 に「建築物省エネ法に適合することを目標」と記載がありますが、ZEB 化は不要と考えてよろしいでしょうか。	ZEB 化は不要と考えてよろしいです。
3	公募型建築プロポーザル説明書　P7　参加表明書の作成等及び様式 2～5 について記入事項の証明は提出者とし、様式2提出者（設計事務所）の経歴等、管理技術者の所属並びに資格が証明できるものを添付することでよろしいでしょうか。 また、継続教育（CPD）については管理技術者及び主任技術者とも「建築CPD 運営会議」の証明(写)を添付することでよろしいでしょうか。	様式2 提出者（設計事務所）の経歴等、管理技術者の所属を証明できるものの添付は不要です。 管理技術者の資格が証明できるものを添付してください。 継続教育（CPD）については管理技術者及び主任技術者とも「建築 CPD 運営会議」の証明(写)を添付してください。
4	公募型建築プロポーザル説明書　P12　技術提案書の「視覚的表現」について、「医療・福祉施設の設計プロポーザル・ガイドライン」には具体的な事例などの記載は見受けられませんでした。設計者の提案によると考えてよろしいでしょうか。	敷地に対する配置計画ならびに施設の全体計画を必須とし、必要に応じて若干のテーマをこれに加えた程度のものを想定しています。(国土交通省大臣官房官庁営繕部平成30年4月2日事務連絡「技術提案における視覚的表現の取扱いについて」は適用しません。)
5	建築設計業務委託特記仕様書 P2 に耐震安全基準の分類に建築設備は甲類とあります。 BCP の想定は72 時間と考えてよろしいでしょうか。	官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説（令和 3 年版）に記載の甲類の考え方に基づき、BCP は72 時間程度を想定しています。
6	質問書の提出は、技術提案書の提出者に選定頂いた後も可能と考えて宜しいでしょうか。	説明書 P14　13　(2)に記載の受付期間以外は受け付けません。
7	技術提案書の提出者に選定頂いた場合、計画敷地の CAD 又は PDF データは配布頂けると考えて宜しいでしょうか。	説明書 P7　8　(1)に記載のとおりです。
8	技術提案書の提出者に選定頂いた場合、既存新棟の平面図（紙媒体もしくは PDF 等）は参考までに配布または貸与して頂けるものと考えて宜しいでしょうか。	番号7 に同じ。
9	「容積率緩和手続きが必要」と記載ありますが、ピロティ、昇降路、備蓄倉庫等の緩和以外に「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 第 17 第 3 項」の認定による緩和を受けることも想定すると考えて宜しいでしょうか。	特記仕様書 P2　第 1　3　(4)オに記載のとおり、特定用途誘導地区の指定を受ける予定です。 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第17 条第3 項の認定は想定していません。

業務名
（仮称）県立安芸津病院耐震化対応に伴う基本設計及び実施設計委託

質疑回答書（　2 枚の内　1 枚目）	地方独立行政法人広島県立病院機構　法人本部総務課

番号	質疑事項	回答
10	公募型建築プロポーザル説明書P12. (2) 記載上の留意事項 イ技術提案書 （ウ）様式 12（概算工事費等）概算工事費、概算工事費内訳を様式に従い記入してください（評価対象ではありませんが、審査の参考とします。）。とありますが、審査の参考にするとはどういうことでしょうか。	技術提案書等を評価するための参考とします。
11	外来診察数をご教示ください。	10 室程度とします。
12	中央点滴のベッド数をご教示ください。	基本計画に記載の内容を踏まえ適切な規模を提案してください。
13	病棟の４床室、２床室、個室の室数をご教示ください。	4 床室：11 室、2 床室：3 室、 個室：10 室　程度とします。
14	リハビリの広さ（面積）をご教示ください。	番号 12 に同じ。
15	管理部門（医事課の除く）は全て既存建物改修部分に入ると考えて宜しいでしょうか。	基本計画 P12　第 1 章　3　(1)イの記載内容を基本としますが、特記仕様書P2　第1　3　(4)カに記載のとおり、基本計画で想定した内容に拘らず、より合理的な提案を期待します。
16	Ｈ３築の新棟の改修は6,908.91 ㎡全面改修と考えて宜しいでしょうか。	番号 15 に同じ。
17	今回の新築棟とＨ３築の新棟は渡り廊下で接続する必要はないでしょうか。	渡り廊下で接続しないことを前提に提案してください。
18	特記仕様書P1　第１　2　(4)計画範囲 新棟(H3 築)の耐震改修設計はおこなわないと考えてよろしいでしょうか。	新棟(H3 築)の耐震改修設計は想定していません。
19	特記仕様書P12　第２　4　(16)石綿の使用状況の調査 石綿含有調査において石綿含有が確認された場合、改修を行う室を除き石綿撤去設計は別途と考えてよろしいでしょうか。	新棟については、改修を行う室を除き石綿撤去設計は別途と考えてよろしいです。旧棟については、石綿含有建材が使用されていることが想定されており、石綿撤去設計は本業務の中に含みます。
20	特記仕様書P13　第２　4　(20)その他 建設予定地に地中障害はないと考えてよろしいでしょうか。また、地中障害に係る調査は業務外と考えてよろしいでしょうか。	地中障害はないものとして提案してください。

業務名

（仮称）県立安芸津病院耐震化対応に伴う基本設計及び実施設計委託

質疑書回答書（　2 枚の内　2 枚目）	地方独立行政法人広島県立病院機構　法人本部総務課